



3月8日 第2回ふるさと文化祭「馬頭子ども太鼓」(須原地区館)



平成27年度予算審議

2



一般質問
8名が登壇、村政を問う

8



防災講演会報告

16

33億8300万円でスタート と教育福祉の充実を

3月 定例会



入園式

3月定例会は、3月4日から30日まで27日間の会期で開かれ、常任委員長、組合議員、議長、村長、監査委員からの諸報告の後、請願1件を審議。

一般質問は8名8件。村長提出議案は補正予算4件、条例改正16件、新年度予算6件、村道認定などその他の議案5件、教育長の選任など人事案件3件が上程され、慎重審議可決しました。

27年度事業ピックアップ

教育費

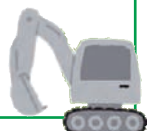
歴史民俗資料館
収蔵庫・展示室の増改築

(6930万円)

土木費

口宮の沢河床整理
豪雨に備え河床整理を実施

(235万円)



民生費

福祉タクシー券
通院、通所のほかに買い物にも利用できるよう拡大

(81万円)

衛生費

村内駅前公衆トイレ
野尻駅前公衆トイレ設置
須原駅前公衆トイレ設計

(1907万円)



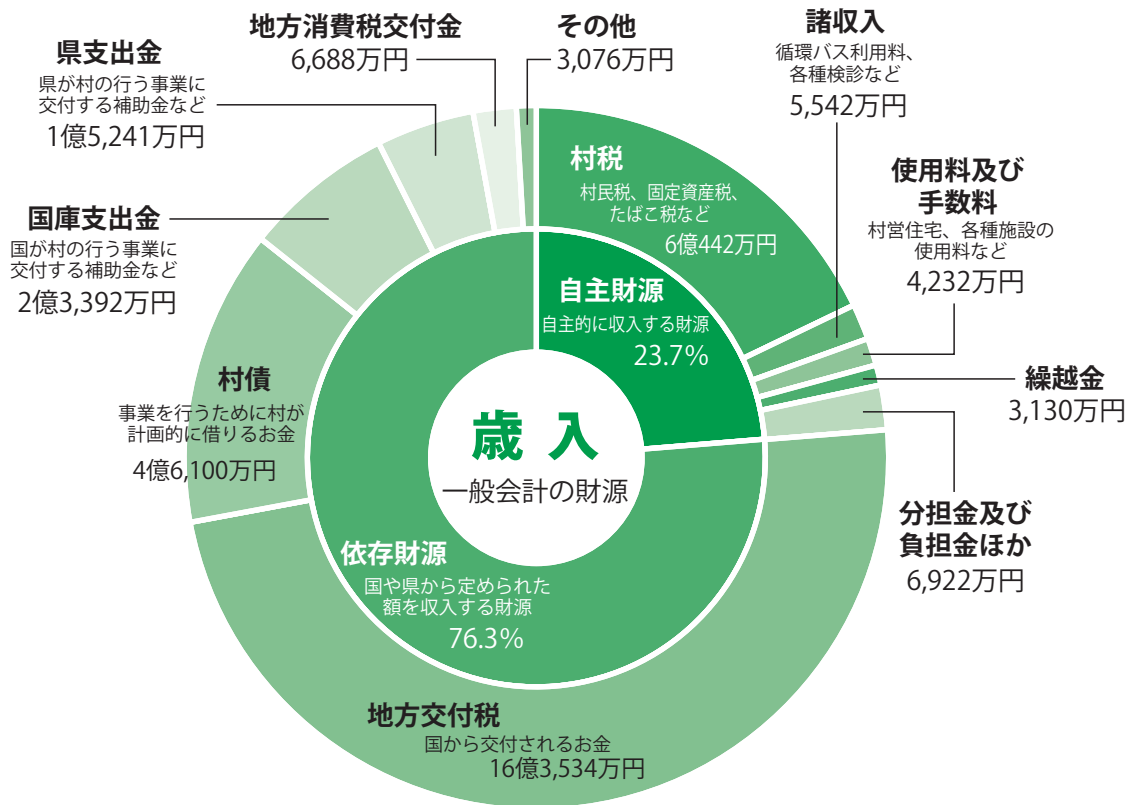
総務費

防災行政無線デジタル化
デジタル化整備工事着手
(1億4307万円)

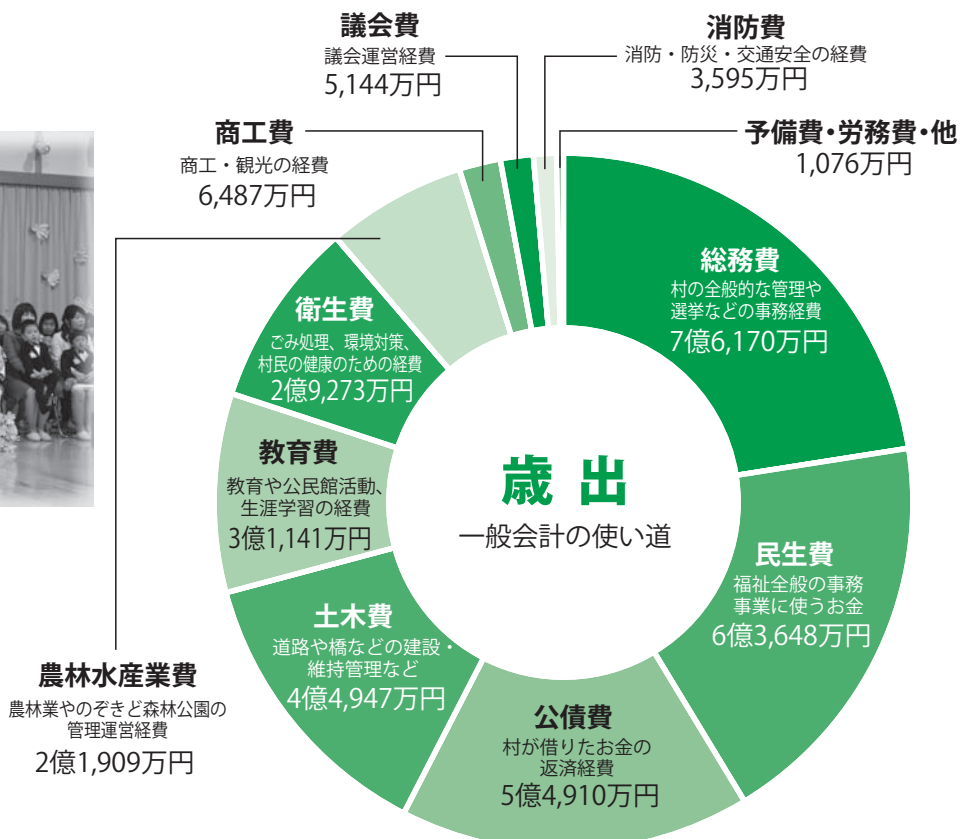
国際交流事業
高校生4人を含むシエルビービル市への渡航交流
(279万円)

平成27年度
予算成立

一般会計予算前年度対比5.4%減 安全安心な環境づくり



入園式



新年度 予算 Q&A

歴史民俗資料館増改築 工事

Q 増築部分の展示室は学習室とも説明を受けたが、目的が曖昧だ。

A 増築部分の機能としては、従来からの学習室として体験学習、北名古屋都市子供交流の場として継承し、天井高も上げて展示も含めた多目的ホールとして計画する。

Q どのような資料館にしたいのか計画構想が見えないが。

A 開館以来の常設展示を撤去し、現在展示してある「昭和のもの」「蚕のもの」は民俗資料としては重要と考えているし、館

内の展示レイアウトは今後も収蔵物の関係を見ながら学芸員と調整し、利用者が見やすい展示を考えていく。

Q 今はメイン的なものもなく中途半端な感を持ち、村民が行ってみたいような魅力のあるものではない。今後も歴史資料を大事にするという観点だけで続けていくのか。

A 改修は本来の村の資料館らしく歴史的遺物の展示を考えていく。

Q 行政も慎重吟味のうえで示された改修なので尊重するが、執行していいものを作るにはさらに詰めてもらい、我々も一緒に納めて審議した以上責任を負うべき立場なので、いいものを作るためにしっかりと努力をお願いしたい。

A 住民の信頼のもとで行っていくものなので、皆さんがいいものを作ったなと思えるような施設整備をしていく。

官行造林持ち分買取

Q 委員会での提示金額より大幅に減額となった要因は。

A 前回は森林管理署のデータを村で財価を推測したもので、今回の予算額は管理署より提示された金額を基に計上した。

Q 今後、村有林として村独自で使用できるか。

A 現在半々の所有のところで、買い取るによりすべて村の財産となる。

空き家対策

Q 解体しさら地にすると固定資産税が

高くなることが空き家対策のネックになっているが。

A 小規模宅地で200㎡までは6分の1、それ以上は3分の1の減免になるが、今後、危険家屋とみなされた場合は減免対象にならない。

Q 村内の危険家屋の対応として、買取も含め、防犯上でも早急の検討が必要だが。

A 地域からの不安もあり対応しているが、相続人が特定できず進展していない。今後、法律の専門家による対応も含め検討する。

Q 廃工場へ行政代執行はできないか。

A 今回の法改正では工場等は想定していない。抵当権が設定されておりそれを外すことが先決となる。相続人が手続きを取らなければ執行はありえない。

会計別当初予算集計表

会 計	本年度 予算額 (単位：万円)	前年度 予算額 (単位：万円)	前 年 度 比	
			増減額 (単位：万円)	増減率 (%)
一般会計	338,300	357,530	△ 19,230	△ 5.4
村営水道事業特別会計	27,654	28,093	△ 439	△ 1.6
国民健康保険事業特別会計	41,844	40,560	1,284	3.2
農業集落排水事業特別会計	10,973	16,699	△ 5,726	△ 34.3
公共下水道事業特別会計	10,307	11,214	△ 907	△ 8.1
後期高齢者医療事業特別会計	6,376	6,735	△ 359	△ 5.3

26年度

補正予算質疑

820万円を追加

地方創生は消費喚起・子育て・観光振興
移住促進・総合戦略策定から

除雪費

Q 除雪費用はどのよう
に算定している

A 予算上の審議では
あるが例年1千万
円弱を計上している。
オーバー分は補正を組
んでいる。

Q 今年度はどれくら
いの除雪費用がか
かっているか。

A 現在まで(2月中)
のところ2600
万円の支出である。

のぞきど森林公園

Q のぞきど公園のケ
ビン使用料が高い
と聞くが、公園使用者
を増やすためにもせめ
て村内利用者の料金を
安くできないか。

A 施設使用料金規定
があり格差はつけ
られない。現在予約の
割引制度を実施してい
る。利用者増は今後の

検討課題だ。

新庁舎建設基金

Q 新庁舎の基金はど
のくらいの目安と
しているか。

A 当初の見積もり予
算の10億円に近い
額を目標としている。

子どもインフルエンザ
予防接種

Q 子どものインフル
エンザ予防接種の
接種率は。

A 接種率は児童・生
徒全体の60%と

70%程度となっていま
す。

地方創生関係事業

おためし居住体験

Q おためし居住体験
で2軒分の予算を
もってあるが、入居す
るのに何か条件はある
のか。

A まだそこまでは決
めていない。でき
れば生産年齢で大桑に
来てくれる人を目指し
たい。

Q 体験日数はどれく
らいか。

A 体験日数はどれく
らいか。



のぞきど森林公園ケビン

A できれば家族の方
に住んでもらいた
いが、日数は少ないと
思う。

Q 来てもらったら村
内を案内するガイ
ドをつけたらどうか。

A お試しなので多く
の人を受け入れら
れないが、誰につけて
案内したい。

Q 横町の村営住宅の
改修工事について
330万円弱でどの程
度の工事なのか。

A 今のところ1軒分
として、使えるよ
うな形で直してゆく。

プレミアム商品券

Q プレミアム商品券
の発行についてど
のようなかたちで出す
のか。

A 商工会に委託して
行っているの内で内
容については検討して
いく。

会計別補正状況

(単位：万円)

会 計	補正額	総 額	主な内容 (歳出)
一般会計	820	356,686	消費喚起プレミアム商品券発行 1,068 地方創生移住促進事業 1,136 総合戦略策定業務 1,000
国民健康保険事業特別会計	△ 266	41,680	負担金等の確定による減
後期高齢者医療事業特別会計	△ 431	6,374	負担金等の確定による減

こんなことが決まりました

子ども・子育て支援法施行により保育料金が改定されます

条例改正

- 表彰条例の一部改正
- 議会委員会条例の一部改正
- 職員の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正
- 特別職報酬等審議会条例の一部改正
- 特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部改正
- 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 職員の給与の控除に関する条例の一部改正
- 特別職の職員等の旅費又は費用弁償に関する条例の一部改正
- 教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条文の改正及び廃止

- 育英基金条例の一部改正

奨学金の償還について、一定の条件のもと一部又は全部の免除規定を加えるもの

- 子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定

- 保育所設置条例の一部改正

子ども子育て支援法施行に伴う条例の制定及び改正

- 出産祝金支給条例の一部改正

支給対象者拡充のため居住条件を緩和

- 補助事業等つなぎ資金貸付条例の制定

- 補助事業等つなぎ資金貸付基金条例の制定

補助を受けて事業を実施する団体へ無利子でつなぎ資金を貸し付けけるもの

- 行政手続条例の一部改正

行政手続法の一部改正に伴う関係条文の改正

その他

- 指定管理者の指定

施設の名称

阿寺溪谷キャンプ場

指定管理者名

阿寺溪谷エコくらぶ

代表 鈴木 裕

指定の期間

平成27年4月1日～

平成30年3月31日

- 村道路線の認定

14路線を村道認定するもの

- 木曽広域連合規約の変更

- 木曽広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄

基金の一部を取り崩し広域の事業費とする。

- 長野県公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更

請願

- 手話言語法制定を求める請願書

請願団体

木曽郡聴覚障害者福祉協会 会長 西 宏他

紹介議員

古畑 昌夫

瓜尾美佐子

結果 全会一致採択

人事

- 教育長の選任

大桑村長野

坂家 重吉 氏

同氏の推薦に全会一致で同意（再任）

◎ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正による選任



- 固定資産評価審査委員会委員の任命

大桑村野尻

福海 修 氏

同氏の再任に全会一致で同意



- 人権擁護委員

大桑村長野

棚秋 智子 氏

同氏の推薦に全会一致で同意



行政報告

新庁舎建設場所は旧大桑小敷地が最適

○庁舎建設事業の進捗状況について

新庁舎の建設については、防災関係団体、教育関係団体、福祉関係団体など8名の団体の長と4名の村長推薦者を含む12名の委員からなる庁舎建設検討委員会を設置し、10月から2月まで5回検討委員会を開催しました。検討内容は、年度末までに基本構想素案と建設場所の選定について行うこととし、特に建設候補地については9カ所の候補地が提案され、それらについて候補地の選定基準に基づき検討を重ねてきました。

2月10日、第5回の検討委員会で建設候補地を含む基本構想の修正案が確認され、2月

25日検討委員早川委員長から報告書を受けとりました。報告書の内容は、建設場所は旧大桑小学校敷地が最適であると明示され、基本構想の必要箇所の修正を加えたものです。村ではこの報告を尊重し、来年度から基本計画策定へと進みます。

○村政懇談会

今年度から開催方法を変え、各地区で行われているサロンに出席して参加者と懇談しながら意見や質問を受けることとしました。これまで8回行い、参加人数は多い所で30人、少ない所では9人ですが、ひざを交えた懇談ができました。今後は時期や年齢層など検討して行政に反映できる懇談会の開催を目指します。

○国・県合同防災訓練

1月17日、国土交通省、長野県、大桑村による合同防災訓練が野尻地区館で行われました。村は、職員のほか消防団、建設事業協力会が参加しました。訓練では、実際に災害が発生した場合、村の職員が地域防災計画の内容と国と県がどのようなことを実施しているか理解できるようにすることをポイントに、ロールプレイング方式により参加者がリアルタイムで防災対応や関係機関との情報連絡を実施するとともに、一定時間後にそれらの内容を各機関で意見交換を行う勉強方式を取り入れた訓練となりました。今後、このような合同訓練を実施しながら災害に備えていきます。

○電気自動車充電器設置

村では、一般社団法人次世代自動車振興センターと充電インフラ普及支援プロジェクトの補助を受け、「道の駅大桑」に電気自動車の充電器を設置します。3月2日に充電器が設置され、舗装などの付帯工事が終了後、供用開始となります。

○下在郷分館

下在郷分館（下在地区地域交流施設）が2月27日にしゅん工しました。地域の防災拠点として消防団の積載車の車庫などを含め検討しましたが、敷地などの関係により今回は見送りさせていただきましたが、今後消防団と協議を進めてまいります。この建物は木造公共施設整備事業として県の補助を受け整備したため、12月7日には建て方見学会、1月24日には木育体験会を開

催し、木造建築の素晴らしさを体験することができました。

○空き家実態調査

調査は、昨年8月から9月にかけて各地区の統計調査員が村内全域の住宅の外観目視調査により空き家を特定し、周辺の聞き込み調査により当該空き家の所有者を特定しました。2次調査として12月から1月にかけて所有者が特定できた空き家について建設時期、空き家になった要因、空き家の状態についてのアンケート調査を行いました。調査の結果、空き家件数は208件で空き家率は12%でした。地区別では、須原地区65件、長野地区41件、殿地区18件、野尻地区84件となりました。今後、これらの調査結果を参考にして、空き家情報バンク制度充実や住宅増改築補助金制度のさらなる推進を図るとともに、国が制定した空き家等対策の推進に関する特別措置法の趣旨に鑑み空き家条例の整備を進めてまいります。



下在郷分館

質 問

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。



木戸 勘一 議員

相談しやすい窓口は 住民目線で対応

Q 行政へ気軽に相談できることは大切。今年度の相談件数は。

A 担当窓口において相談は行い、4月から2月の統計で障がい者・福祉関係で1009件、高齢者関係で1645件、保健関係で305件、合計2965件で、一日平均10件。なんでも相談は多い年で年間60件程度。なお、27年度から昼間働いている方の相談にも対応するため、7月から9月の3ヶ月は、夜間も実施する予定。

Q 相談しやすい窓口にするための対応は。

A 住民目線を心がけ対応可能な相談はスピード感を持って解

決する。予算や時間を要する問題については順次計画していく。

Q 職員の意識改革について、住民とフラットな関係が大切と思うが現状は。

決する。予算や時間を要する問題については順次計画していく。



役場の窓口業務

A 職員は公僕であり、雇い主は村民であることを基本にしなければならぬ。信頼の構築に努力する。

Q あてら荘への委託料が26年度1000万円から27年度2500万円に増額される。厳しい現状を踏まえ経営が心配されるが。



あてら荘

A 27年度はしっかりととした改善計画を出していただき経営にあたってほしい。

Q 指定管理契約が27年度で終わる。今後の方針は。

A 現在、株あてらによる存続が危惧されている。雇用している職員もいるので、指定管理を続け、経営改善を求める。

Q 国は人口減少対策で地方創生を打ち出した。創生先行型に

対し、空き家の活用が必要と思う。空き家調査から村の対応は。

A 国の空き家等対策の推進に関する特別措置法に沿って、条例等を整備し対応する。

Q 地方創生先行型で移住補助制度に対応した空き家の活用とあてら荘を利用した体験移住を考えてみては。

A 空き住宅を利用したお試し居住体験を予定している。



Q&A 村政を問う

般

大前 今朝男 議員

庁舎建設候補地の選定は 早すぎないか

建設基本構想により進めている

Q 検討委員会の候補地の選定は早すぎたのではないかと。

A 庁内検討委員会、住民からなる庁舎建設検討委員会により検討は半年間十分にできた。

Q 住民の意見を聞く機会がなかったが住民の意見は反映されているか。

A 検討委員会が住民の代表の諮問機関であるため、民意は十



建設候補地

分反映されている。

Q 住民のアンケートを取る意見等は委員会では出されなかったか。

A 検討委員会では、候補地等の検討事項についてもっと広く時間をかけて住民に意見を聞くべきだと判断した場合には、テーマを絞ってアンケート等を実施していくことは考

えていた。今後の検討の中でもそのように考えている。

Q 基本構想時点での候補地決定は、今後の計画の中では早急ではないか。

A 基本構想を基に基本計画で具体的な建物の内容が決まってくる。場所が決まっていたほうが今後の計画の策定がイメージを

持つてスムーズに進むと考えた。結論を急いだわけではないが、選定基準を基に検討し、検討委員会の総意でこの時期に決まった。

Q アクセス道路の一つで、中山交差点は危険箇所であるが、庁舎建設前に整備したかどうか。

A 庁舎の基本設計、計画とともに整合性を取って進めていく。

Q 大桑村は将来消滅する自治体とはあまり考えないと新聞に発表しているが、その根拠は。

A 日本創生会議の中で、消滅する自治体には優良企業もあり、村内の利便性も良くなっている。これから前向きに村づくりを進めなければならない。



中山の交差点

質 問

大桑村議会では、議員が質問できる時間は30分以内で一問一答で行われます。



鈴木 武 議員

箱モノ事業は慎重に

今後は時間をかけ
丁寧に取り扱う

Q 27年度当初予算は、前年度対比5.4%減の33億8300万円の緊縮型である。土木費の減少が際立っている。道路、河川の整備とともに、耐震基準を満たしていない避難所整備が必要ではないか。

A 土木費の減額は、普通建設事業費の減少による。避難所の建て替え等については、地域住民から要望が出た時点で、担当部署で検討して対応したい。

Q 歴史民俗資料館増改築計画が提出された。収蔵品が増加傾向にあり、収蔵庫の増

改築については一定の理解はできる。しかし、入館者・利用者数の状況をみる限り、展示室の増改築は疑問符が付く。時間をかけ慎重に扱うべきではないか。



資料館展示室の視察

Q フォレスパ木曾の委託料が27年度、2500万円で増額となったが、資金繰り計画表によると来年3月で底をつく。27年度は指定管理契約者終了年度であるが、村は継続

A 展示室については、展示だけでなく、学習の場、コミュニティの場として活用したい。建設に関しては、今後は、もっと早い段階で情報公開をして説明をしていきたい。

Q 若者の定住化促進施策として、住宅供給の必要性を感じる。沓掛外地区で、宅地造成した土地を2区858万円で分譲する。入居数増加が期待できる村営住宅に計画変更を求める。

A 人件費や原材料費を精査いただき、経営をお願いする。

を望んでいる。未来ある経営を期待できるのか。



沓掛外団地

提案 空き家を村が買取り村営中古住宅として活用し、一定期間居住した入居者に希望があれば払い下げ。空き家対策とともに定住化につながる施策として提案する。

A 村営住宅の建設も考えていきたいが、分譲地を提供して定住化につなげたい。



Q&A 村政を問う

岩佐 孝和 議員

般

国道の道路事情がよくない。
対応は

関係機関とも協議し

改善に努める

Q 郡内事故発生のワースト10の1、2、10位が大桑村。この調査をどう分析するか。

A いずれの場所も信号、取り付け道等で追突が主。安協とも連絡を密にして防止に努める。

Q センターポールの事故防止効果についてどう考えるか。

A 平成15年から設置しているが、設置前後を比較して件数・死亡者等も激減している。



国道19号のセンターポール

Q そのポールが無くなっている所がある。どう対応しているか。

A 飯田国道事務所との安全対策会議でも強く要望をしている。

Q 国道への取り付け事情も悪い。信号機の少ないのも一因では。

A 村内各所が急勾配J Rと並行、また、信号機については公安委の基準もあるが、その都度会議でも思いは伝えている。

Q 今、橋梁長寿命化工事を進めているが、村に土木系技術職員はいるのか。また、義務化されたことで負担も重くなる。今後の考えは。

A 専門職員はいない。また、点検は自治体ごとでなく、一括で広域の建設課に発注して進めることとしている。



阿寺橋と下在阿寺線

Q 下在阿寺線の2年目は、道の拡幅とかさ上げと理解してよいか。

A 重要な生活道路であるが、現道の高さはそのままに拡幅改良となる。

Q 今の阿寺橋を架け替える時、水面からの高さを上げた。道も当然上げるべきと考えるが。

A 河川法による許可も必要であり、ダ

ムにためることのできる最高の水位もクリアできる計画になっている。橋は、余裕高を見て造られている。

Q この道の町側が防浸水想定区域になっていて心配する声もある。木曽川の満水時より低い所については、マップにそのように落とすが、下在阿寺線は最高の水位もクリアできるものと考えている。

A 河川法による許可も必要であり、ダ

質 問

質問したい議員には、質問内容を書いた事前通告書と、質問の要旨を記した義務通告書を出します。



瓜尾 美佐子 議員

定住策として地域おこし協力隊の活用を具体的に募集していきたい

Q 人口減少をいかに食い止めるか、定

A 運用の中で検討していく。

5百円券も組み合わせでほしい。

Q 1万円券だけでなく、多くの住民に

購入してもらい、広く消費喚起につながるよう5千円券の発行と

A 消費を喚起し生活支援に直接効果を

発揮するものが対象であるため、村としてはプレミアム商品券事業に活用したい。

Q 「地方創生」の緊急予算措置である

「地域消費喚起・生活支援型」の交付金の考え方と内容は。

住者をいかに増やしていくか、大きな課題である。「地方回帰」とも言われる若者の地方への移住が注目されている。地域おこし協力隊の制度を導入できないか。



中学校卒業式

大桑村に移住したくなるような村の良さをPRする情報発信の工夫を。

Q 大桑村に移住したくなるような村の良さをPRする情報

発信の工夫を。

A 国、県でも移住促進センターの窓口ができるので、活用し、ホームページでも発信する。

元気な地域づくりには住民参加が必要であり、大事な課題。今後、どう進めていくのか。

A 地域づくりは、住民との協働なしではできない。昨年

からサロンなど小さな集まりに出向いて、それぞれの立場から心のこもったアイデアをいただいている。このような懇談会が住民参加の村づくりにつながって

Q 元気な地域づくりには住民参加が必要であり、大事な課題。今後、どう進めていくのか。

A 地域づくりは、住民との協働なしではできない。昨年

からサロンなど小さな集まりに出向いて、それぞれの立場から心のこもったアイデアをいただいている。このような懇談会が住民参加の村づくりにつながって



東サロン学習会

A 地域の高齢化で駐在員も大変になっている。職員の地区担当制は考えていきたい。

Q 住民へのこまめな情報提供や住民の声を聞くために、阿智村のように地域ごとに職員を担当させることはできないか。

A 地域の高齢化で駐在員も大変になっている。職員の地区担当制は考えていきたい。

Q 住民へのこまめな情報提供や住民の声を聞くために、阿智村のように地域ごとに職員を担当させることはできないか。



Q&A 村政を問う

水野 進 議員

般



資料館展示室

Q 公共施設の中長期整備計画はあるか。
A 単独の計画はないが、村総合計画等を基に進めている。

Q 新庁舎建設の機能集約で生ずる空き施設の活用は。
A 使える土地、建物ともに再利用する。資材・労務費高騰から増額も見込まれる。経費枠か、機能重視か。
A 人口規模から約10億円とみる。

現状の懸案事項
(新庁舎と空き家) について

熟慮検討のうえで

施策推進

Q 機能増、資材高騰、消費税、施設解体など経費増の要素もあり、2〜3割増もあり得るが、身の丈に合った機能的で使いやすい庁舎を目指す。
Q 完成後の空き施設等の具体的活用策は。
A 新庁舎建設場所を検討した結果、現庁舎などの空きが生ずる。今後、具体的に空き施設の活用を検討し、使用可能施設は利用する。

意見

・計画の検討前に、27年度事業として歴史民俗資料館展示施設増設事業を提案しているが、まず、単に元に戻すのではなく、当該エリア活性化の視点から活用策を検討し、結論を得ることが先決と考える。
Q この状況で提案する妥当性は。

A 資料館学習室の収蔵庫への転用と二丁に合わない常設展示物の撤去、学習室と同規模面積の展示室増築を提案した。空き施設も管理人事務所、利用者控室に活用し、図書室はスポーツ公園休憩施設としたい。
Q 次に、空き家調査から見えた問題は。資金不足、高齢化遠隔地居住で維持管理や修繕がままならない、などの問題のほ



和村からの村民体育館 全景

か、住める空き家の賃貸、地域活動への貸し出し、売却などの希望もある。また、空き家情報バンクや住宅改築補助金制度を知らない人もいた。制度を周知し空き家の活用努力を促したい。
Q 今後の施策化は。
A 6月をめどに空き家管理条例化を進め、補助金制度なども積極的にPRしたい。

質 問

議会だよりに掲載される一般質問の問答は、質問議員が要約したものです。



沼 友行 議員

若い男女が互いに出会う機会を 関係機関と連携して事業化に 結びつけたい

Q いずれは896の自治体が人口減により、消滅すると言われているが、どのように食い止めるのか。

A 多くの人が心配している。人口減少化が進む中、出産、子育て支援、結婚支援も含めて少子化対策としている。県でも長野結婚子育て応援宣言を呼びかけながら少子化に取り組んでいる。

Q 若い男女が互いに出会う機会が少なくないと思うが、村で出会う機会をつくることはできないか。

A 南木曾町社協と大桑村社協と共催で婚活イベントをしてい

る。住民の方と、個人の結婚や出産についての考え方や、価値観を共有して地域全体で次の時代を育むための環境作りが必要であり、地域福祉計画で新たな

Q 村は新しいことを企画しないが、前例を踏襲すれば良いという考え方なのか。

A 当初予算の中で、何ができるのか考えながら仕事を進めているので、決して新し

出合いの場づくり推進の項目を掲げた。地方創生総合戦略策定の中で関係機関と連携をして出合いの場づくりを検討しながら事業化に結び付けていきたい。

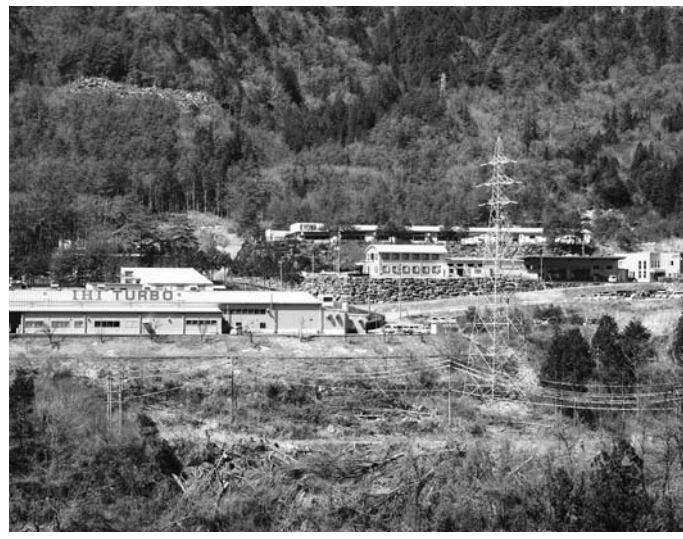


村営住宅団地

いものを考えないでいるわけではない。

Q 若者対象の住宅を建設する予定はあるか。また、宅地分譲する計画は。

A 村営住宅は109戸あり満室である。必要があれば建設も考えていきたい。宅地の分譲は、27年度に2区画を予定している。自分で家を建てて住まいを構えることが定住に



和村工業団地

つながる。住宅建設につながる村有地があれば宅地造成をして提供したい。

Q 多種多様な職種の企業を誘致する考えはないか。

A 来ていただける企業があれば検討する。既存企業の振興策も必要と考える。



Q&A 村政を問う

古畑 昌夫 議員

般

70年、非核・不戦の

村宣言を

大桑村の戦争体験を

記録し残したい

Q 人口減や高齢化により自治会の運営が困難になっている。

自治会の代表者の会議を開き、村との連携が必要になっているのでは。

A 駐在員だけでなく、地域の要望を聞く自治会の代表者の会議も必要だと思う。

Q 災害に備えた自主防災組織と、自治会のあり方を一体にし

ることにあり、外務省の出入を願ったのです。今回の調査で登録された者は、永久に名簿に登録されていること

平和への祈り

恒例の慰霊祭

昭和41年7月20日(水)
五月六日新緑にうまつた平和祈念塔広場で戦没者遺族、村内外の来賓多数が参加して恒例の英霊慰霊祭が厳粛に挙行された。村長の司会で平和実現への祈願熱唱、引き続き村内寺院の読経、御遺族参列者全員の焼香で戦没者の冥福と平和を祈った。最後に遺族会長の謝辞、戦友同志会員は前日、広場周辺の清掃を本仕当日は紅白の投餅を寄贈された。引き続き、長野公民館で

今年の保育園

今年の保育園児は次の通り
須原七名、長野六二名
野尻八八名、下 在四五名
伊奈川一二名、殿 一九名
須原と下在は通年の予定、
長野と野尻は秋までの八ヶ月、伊奈川と殿は春二ヶ月
開設して秋二ヶ月の予定で再開される見込み、よい子供達は皆仲良く新しいお友達もでき、幼な心にも共感生活の楽しさや苦しさが無心の

昭和41年の村の広報誌から

て考えていく必要があるのではないか。

A 村では、防火防犯組織を自主防災組織としているが、防災無線のデジタル化も計画されており、防災組織のあり方も検討する必要がある。

Q 平成22年の国勢調査の統計では、20年前と比較して人口は20%、就業人口は25%減っている。自動車関連企業に頼るだけでなく、農林関係や商工業が連携して地域経済の振興を図る必要があるのではないかと。

A 地域資源の域内の循環、再生のために村だけでなく木曾全体としても検討していく必要がある。

Q 今年には戦後70年であり、大桑村の戦争記録、戦争体験をまとめ残しておく必要があるのではないか。



平和公園

A 村では災害の記録や生涯学習で郷土の歴史などについて記録を残している。戦争体験を語れる人が少なくなっているのでは、この機会に残しておくことは必要と考える。

Q 村は1980年に「核兵器廃絶宣言の村」の議決を行い、これまでに全国では約9割の自治体が決議している。1966年には憲法記念日に平和塔の除幕式を行い、当時

A 戦後に生まれた者として、過去の教訓を生かし「つらい思いは二度としたくない」という思いがある。

防災講演会

平成 27 年 2 月 7 日

野尻地区館

『土砂災害を知る・備える・行動する』



2月7日の土曜日午後3時より、野尻地区館において議会主催の防災講演会を開催しました。

講師には全国治水砂防協会の岡本正男理事長をお招きし、『土砂災害を知る・備える・行動する』を演題とし、講演していただきました。

今回の講演会は議会として初めての取り組みでもあり、当日の参加者数が心配されましたが、131名が参加。上松町や南木曾町の議会からの参加もあり、会場はいつぱいになりました。

岡本氏は、国内だけでなく海外の土石流災害の生々しい映像や参加者全員に配布された詳細な資料を紹介しながら、土砂災害から身を守るために行政の役割は何か、住民のすべきことは何か、地域の

防災力の向上のためにどうするかなど、防災対策の充実の必要性や災害時の心構えについて熱く語りました。

参加者の声

○これまで見たこともない災害の映像に衝撃を受けたが、改めて土砂災害の恐ろしさを感じ知った。

○貴重な資料をいただいた。今日、参加できなかった人に見てもらいたい。

○危険な時は、自ら避難することが最善、ということを改めて知った。

○また機会があれば、今日のような話をもつ

と多くの人に聞いてほしい。

私たちは、今回の防災講演会を土砂災害から命を守るために、何が必要か、何ができるのかを住民のみなさんと共に考え、議会・住民・行政が一体となつて地域防災に取り組みきつかけになればという思いで、開催に至りました。

今後は、土砂災害についての共通認識に立つて、議会として住民のみなさんとの懇談会などを開催し、地域の防災力を高める取り組みを進めていければと考えます。



▲岡本理事長

委員会報告

総務社会 常任委員会

◎2月12日開催

委員外議員の出席を求め、全議員出席のもと村担当から説明を受けた。

▼調査の結果と概要

1 庁舎建設候補地視察調査

建設候補地9カ所のうち、警戒区域外に位置する旧大桑小学校、野尻庭の畑、野尻貯木場の3カ所について現地調査を実施した。基本構想(案)に示された比較表、現地調査等から、庁舎建設検討委員会の結論の通り旧大桑小学校が適地と感じた。今後、議会として特別委員会を立ち上げる等、調査研究できる体制を整えたい。ま

た、検討委員会から、検討事項を報告いただける機会を設けたい。

2 その他

平成27年度産業振興課・建設水道課の主要事項の説明を受けた。

◎2月23日開催

全委員と委員外議員の出席のもと村担当から説明を受けた。

▼調査の結果と概要

1 防災行政無線デジタル化整備事業

アナログ波を使用している村の行政無線を、デジタル波に2年間で整備する事業。この機会に、野外局音声の伝わりにくい場所の改善を検討されたい。

2 歴史民俗資料館増改築工事

概略設計を基に事業の概要説明を受けた。

庁舎建設計画もある

中で、公共施設全般の

計画を考えた上での事業か、浸水警戒区域に文化財を保管することへの疑問等多くの意見が出された。入館状況等の資料提供を求め再度調査することとした。

3 教育委員会制度

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、9件の村条例改正が必要となったため、その説明を受けた。

4 子ども子育て支援新制度

村の支援事業計画（案）の内容、改正される保育料について説明を受けた。新制度を運用していく中で、新たな弊害が生じる可能性もある。保護者の負担増にならないよう対応されたい。

その他として、育英基金条例の一部改正について説明を受けた。

◎3月9日開催

全委員と委員外議員の出席のもと村担当から説明を受けた。

▼調査の結果と概要

1 歴史民俗資料館視察調査

歴史民俗資料館の現地調査と旧大桑小学校に収蔵してある遺物の状況を確認した。調査の結果、収蔵庫の増築については多くの議員が必要との認識をもった。展示室については「資料館の充実のため必要」「新庁舎へ展示スペースをつくるべき」等多くの意見が出た。賛成の議員、未だ疑問を感じている議員もあり、賛否を問うことは困難なため、本会議で議論し最終判断をすることとした。

その他として照明工事後の村民体育館の状況、公民館図書室の現状等の確認を行った。（報告者 鈴木 武）

組合議会報告

木曽広域連合 議会報告

◎開催日 2月27日

第1回定例議会には条例改正、26年度一般会計・特別会計補正予算、27年度一般会計・特別会計予算等が上程され、審議の結果すべて原案通り可決された。

▼第6期介護保険事業 事業計画示される

平成27年度から29年度の保険料は85歳以上の後期高齢者の増加に伴い、要介護認定者数の増加、保険給付費の増額などにより、保険料基準額は現行の5070円から5480円とする。

また制度改正に伴い介護予防・日常生活支

援総合事業については、27年度からの実施を延期し、29年4月1日より実施する。

▼木曽クリーンセン ター手数料改正

可燃ゴミの大幅な減量化を図る目的から、施設へのゴミ持ち込み手数料を改定し、リサイクル誘導を図ることで、減量化につなげる。改訂後の手数料は、家庭ゴミ・事業ゴミ統一料金で10キロまで130円となる。施行日は10月1日。

当初予算の概要は、広報誌「きそネット」またはホームページに掲載。

（報告者 瓜尾美佐子）

松塩筑木曽老人福祉 施設組合議会報告

◎開催日 2月18日

議案は、組合一般職と特別職の職員の給与と報酬に関する条例の一部を改正する案件2件、平成27年度組合一般会計予算及び平成26年度組合一般会計補正予算（第2号）の案件2件で、原案どおり可決。

▼平成27年度予算

平成27年度予算は、前年度比1億4700万円増、率にして3.3%増となった。歳入では、組合収入の骨幹をなすサービス収入は、42億90005万円、前年度比4954万円増で1.2%の増を見込む。施設入所は、35億8534万円の前年度比2億6786万円、8.1%の増、短期入所は定員枠162

人のうち66人分を施設入所へ振り替えたため、3億6044万円

で、前年度比1億9117万円、34.7%の減。デイサービスセンターは、週5日営業化で歳出を抑制し収支改善を図るため、3億

4427万円、前年度比2713万円、7.3%の減。歳出では、人件費が、人事院勧告のプラス改定で基本給、通勤手当、期末勤

勉手当が増となり、地域手当や特養の夜勤手当を見直した。

▼平成26年度組合一般会計補正予算

平成26年度組合一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ900万円を減じ、歳入歳出の予算の総額を、歳入歳出それぞれ44億7400万円とした。

（報告者 水野 進）

（報告者 水野 進）



サークル紹介 第5回



らっぽ 羅炎太鼓

羅炎太鼓の活動が始まったのは昭和63年。

当時、野尻地区の「野尻若衆会」のメンバーで結成され、大人だけで活動していました。

平成になると、子どもたちも加入し、打ち手が増え、現在までに100人を超えるメンバーが活躍しました。指導者は羅炎結成当時のメンバーである中村泰行先生です。

演奏は村内の夏祭りやイベントのほか、日間賀島の夏祭りや、冬のスキー場でのイベント、和太鼓集団が集う大きなイベントなどにも参加してきました。

現在は、社会人5名と小学生2名で活動をしています。社会人メンバーは、小学生から太鼓を始め、長い人だと15年以上の経験者もいます。本当に太鼓が大好きです。

少ない人数ですが、演奏技術を磨くのはもちろん、舞台での演出などもメンバー全員で考えながら、週1回の練習を行っています。

羅炎太鼓では、メンバーを募集しています。一緒に楽しく太鼓をたたきませんか？興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

(代表 久野瑛梨佳)

メンバー募集!!

毎週月曜日 or 木曜日

午後7時30分～9時頃

お問い合わせ

(55)-3531 (久野)

作品紹介 7



そばざる



とうじかご

作者 新家清美さん (長野西)

…作る人のつぶやき…

ヒゴ一本作るにも気持ちが入るよ。作らんとわからんよなあ。やっぱり上手にはできない。手はかかるができると嬉しい!!

編集後記

我々編集委員として一期務めてきました。

その間、白黒から二色刷りへ、そして表裏

だけですがカラー刷り

とすることができました。

ひとえに、この変化で議会報に興味をもっていたこと、一頁でも捲ってほしい

との4年間でした。

住民の皆さんには、

どう映ったでしょうか。

読む機会が少しでも増えたでしょうか。

メンバーは代っても

思いは一緒に、これからも続きます。

4年間の御礼と、今後とも少しでもこの会報に目を通していただ

けますようお願いを
して結びとさせていただきます。

(岩佐)

委員長 横平 幸男
副委員長 木戸 勘一
委員 沼 友行

大前今朝男
岩佐 孝和